

議 事 録				
業務件名		須崎市公共下水道施設等運営事業		
日 時		令和 5 年 10 月 27 日（金）	自 13：30 ～ 至 14：30	
出席者	須崎市建設課 3 名			
	須崎市環境未来課 1 名			
	（株）クリンパートナーズ須崎（以下 CPS） 6 名			
打合せ場所		須崎市役所	記録作成者	CPS
資料	・ 令和 5 年 9 月度すさき家パートナー会議資料（CPS）			
打合せ事項、対策・合意事項等				
令和 5 年 9 月度すさき家パートナー会議				
1.出席者を確認した。				
2.今月のセルフモニタリングのチェック項番について				
・ セルフモニタリング会議で確認したチェックリスト項番を示した。				
3.経営に関する業務				
・ 9 月度の財務状況を報告した。				
・ 法令順守、情報公開に関して、特に問題となるような事項が無いことを確認した。				
4.汚水管渠				
・ 当月は、日降水量 100mm 以上の降雨日はなかったため、大雨後の巡視は実施されなかった。				
・ 劣化リスクの高い 10 人孔の巡視・点検を行った。各箇所で軽微な劣化が見られたが、緊急を要する異状は見られなかった。				
・ 修繕推奨項目リストは、前月から変更なし。				
5.雨水管渠				
・ 当月は 11 人孔の巡視、点検を行った。				
・ 巡視、点検の結果、人孔蓋の多量発錆、マンホール本体のクラックや鉄筋露出、樹木の混入等の劣化状況を確認した。当月の点検巡視範囲は、旧市街地の老朽管渠が多い地区であり、部分的な異状が確認されている箇所もあるため、段階的に修繕を進める必要があると考えられる。				
6.終末処理場				
・ 9 月の降水量及び月間流入水量は平年並みの記録となった。流入水量は 9/1 に月最大値を記録しており、前月末に雨が降り続いた影響と考えられる。				
(次項へ続く)				

打合せ事項、対策・合意事項等	
・放流水質は全項目で基準値を満足する結果であった。また、下水道法、水質汚濁防止法で義務付けられた法定水質試験（年２回）を実施し、全項目において基準値を満足していた。 ・９月の脱水ケーキ発生量は 2,534kg で、当月の住友大阪セメントへの搬出は無かった。 ・９月 14 日に場内雨水ポンプ場電力メータの交換作業が行われた。作業による停電時間は約 30 分であり、復電後も機器の故障等はなく水処理再開となった。 ・２階中央操作室空調機（エアコン）は漏電が発生し使用不可となっている。故障原因箇所の部品交換の準備中である。処理場全体の老朽化が進行しており、機器全体の更新が望まれる。	
7.クリーンセンター横浪	
・浸出水処理施設について、９月の月間処理水量は、硫酸及び苛性ソーダタンク配管改修工事に向けての運転調整等により、例年より少ない結果となっている。（水処理停止期間 6 日程度） ・９月 5 日に水位異常によるコルソス発報が 2 回発生した。（5：03、17：58）これまで度々清掃、置調整を行っていたろ過原水槽のフリクトスイッチ L1 の動作不良が原因と推定される。在庫予備品への交換を行い、その後異常は生じていない。 ・９月 23 日～26 日に、四国ポンプセンターにより水処理施設硫酸タンク配管改修工事、苛性ソーダタンク配管改修工事を実施した。これにより、薬品漏れの不具合解消と配管破損リスクの低下が期待される。また、ポリ鉄のタンク配管のみ未更新のため、当該配管の更新も望まれる。 ・リサイクルプラザについて、９月 15 日に消防設備の点検が行われたが特に異常は無かった。 ・９月 15 日に破碎機の運転異常が確認された。回転式ハンマー最下段にある排出ハンマー片方の欠損を確認した。ハンマーの部分的な欠損があると運転に支障が出る恐れがあるため、９月 20 日に交換工事が行われた。工事後は正常な運転状況となっている。	
8.漁業集落排水処理施設	
・７月に低値であった蜂ヶ尻処理施設の放流水 pH は、雨の影響もあり過曝気状態が解消され正常値に戻っている。 ・池ノ浦地区の No.1 ブローのサーマルスイッチが作動し、複数回警報が発報された原因は、制御盤内のマグネットスイッチ（電磁開閉器）の異常であると推定され、交換に向けて準備中である。 ・中ノ島地区の処理施設理に隣接する公衆トイレの電灯が夜間に消灯したままであり、電灯制御盤内のタイマースwitch 不具合と推定されたため部品交換の準備中である。	
9.雨水ポンプ場	
・９月は保守点検上、特に問題は生じていない。	
10. その他連絡事項	
・次回すさき家パートナー会議は、11/27（月）13：30～を予定。	
(以上)	